

# 平成一九年度

## 地区行政座談会報告【後編】

### 【地区からの質問・意見】

(文頭のQは質問・Aは回答です)

#### ◆情報基盤(光ケーブル)について

Q 光ケーブルの宅内機器の設置状況が業者によってバラツキがあるように思うので是非一度確認して欲しい。また、告知放送で放送するものは、すべて文字放送にも入れて欲しい。

A いろいろなケースで問題があるので全地区のお話を聞いて整理検討したい。

Q 光ケーブルを利用した議会録画放送の予定はありますか。

A 放送作成の人手間、資材が完備すれば可能ですが、二〇一一年からデジタル放送が始まるので費用面を含め検討し計画を持っておく必要があります。

Q 光ケーブルへの加入で、実際には定住に近い人でも住民登録が無いだけで別荘扱いとしての負担金徴収はおかしいのではないか。

A 無料設置は住所登録を基本としているので、ご理解いただききたいと思います

Q 勝田地域の光電話は端末電話で転送できるが、本村はどうか。

A 後日回答します。後日転送可能が判明し、別料金になります。希望者を受け付けました。

Q テレビ組合が管理していた柱と線は撤去し

ていただけますか。

A 経費が七〇〇万円程度必要ですが、徐々に撤去する予定ですのでご協力をお願いします。

#### ◆老人福祉、介護について

Q 託児所等の子育て支援はありますが、老人の支援を少し考える計画はありますか。

A 年金だけの収入の老人への軽減措置等長期的な計画で対応したいと思います。

Q 介護保険料の負担が増えている現状をどうとらえていますか。

A 要介護1、2の利用者も増え経営的に厳しくなっています。国の算定基準も厳しくなるので在宅介護のシステムが必要です。

Q 国保の一部負担二割はどうしても守ってほしい。

A 老人保健で三割を負担している方もおり、若者が二割では少々違和感があるのではないのでしょうか。

Q 高齢者が増えてきていますが、AEDは設置されていますか。

A いきいきふれあいセンターに設置してあり、使用に関し講習会の受講修了者もおります。

◆観光施設、森の村振興公社について

Q 指定管理者制度を活用施設の経営状況はどうなっていますか。

A 依然厳しい状況にあります。平成一八年度決算では旬の里二二〇万円、あわくら荘一〇〇〇万円、スキー場九五〇万円、黄金泉八〇万円それぞれ赤字、あわくらんど二二〇〇

万円赤字で合計では約二〇〇〇万円の赤字となりました。

Q 森林浴公園の活用は考えていますか。

A 経営的な問題、浄化槽管理の問題等費用面で再開は非常に厳しいと考えております。

Q 観光地の景観保全と看板等の管理をお願いしたい。また、公社前の記念公園も管理が不十分でひどい状況にある。

A 十分気をつけますが、範囲が広く行き届かない所もありますのでお知らせください。

Q 公社職員が次々にやめていく原因は何か。

A 観光施設の地方債償還も含め公社に相当の額を投入しているのでリストラや営業効率を高め赤字体質からの脱却が必要です。財政的に豊かであれば賃金を上げ引き留めることも可能であるが現状では無理のようです。

Q 高速道開通後の観光施設生残り策は考えてありますか。

A 各施設の利用者からの満足度アンケートでは西栗倉村らしい物を求めており、これを満たす努力が必要です。また施設のリニューアルも必要です。

◆子育て、教育について

Q 医療費の無料化を幼稚園から小学校まで引き上げられないか。

A いくらか親の責任もあるので現状の三〇〇〇円程度は負担していただきたい。

Q 乳幼児、小学生への支援は充実していますか、中高生への助成を検討して頂きたい。

また、中学校の統合計画はありますか。  
A 補助金制度は不公平感が生じないよう検討します。

中学校で部活動が出来ない短所もありますが、保護者と協議しながら検討委員会を作る準備があってもよいと考えます。

Q 教育委員会の合併はありますか。

A 今すぐの合併はないと思います。今後の生徒数によっても左右されます。

◆税、財政について

Q 税源移譲の関係で村県民税の増と所得税の減が差し引きゼロとの説明ですが、実際には増税になる説明がない。

A 実際には昨年からの老年者控除廃止、今回の定率減税の廃止等により増税となっているがその辺の詳しい説明がされていないのは事実です。国の制度改正のためご理解いただきたいと思えます。

Q 今よく言われている、ふるさと納税とはどういうものですか。

A 納税者本人が現在住んでいる所以外の市町村に住民税の一部を納付するという仕組みですが、納付できる条件とか、方法とか、あるいはそのふるさと納税そのものの是非について議論されている状況にあります。

Q 岡山県下の実質公債比率報道がありました。西粟倉村も相当高い順位でしたが、今後の動向を教えてください。

A 3年平均で平成一七年（一五年から一七年）が二〇・三％、平成一八年が一八・四％、

平成一九年は一八％を切ると思っています。

◆ゴミ処理等について

Q エコ肥料の状況を教えてください。

A 年間一〇トンをペレット状にして生産し一袋五〇円で販売しています。

Q ゴミ処理場が遠くなると今後問題が生じるのではないか。

A 現在美作市との委託費用が約二〇〇〇万円であり、同額程度には抑えたいと考えますので完成の六年後を見据えゴミの減量化、搬入の検討等低コストを検討していきたいと思えます。

Q ゴミ処理は村内ですることは出来ませんか。

A 現在日量一トンの弱の生ゴミですのでランニングコストが削減できれば可能とは思いますが時間もかかり検討課題です。

Q 津山広域ゴミ処理センターができると、作東の処理場は無くなるか。

A ダイオキシシン発生を防ぐため24時間燃やし続ける必要があることと、燃焼灰の処理の能力からも維持は困難です。

◆その他

Q 診療所でのジェネリック（後発医薬品）医薬品の取り組みはどうなっているか

A 患者と医師の合意により実施可能としております。今後も積極的にジェネリック医薬品の対応を検討します。

Q 本村の議員に政務調査費はありますか。

A 西粟倉村にはありません。

Q 単独を選択した後忙しい職場とそうでない職場があるように思うが職員が協力すればコスト削減になるのではないか。

A 大規模自治体は専門職が要求されるが小規模自治体ではそうはいかない。誰でも何でも対応できる体制が必要です。

Q 黄金泉燃料の木質バイオマス化計画は進んでいますか。

A 木質チップを今後慎重に検討したい。

Q 村有林立木の森林認証を受けてからどう変わりましたか。

A 森林認証材の価値観が徐々に認識されつつありますが、西粟倉村の場合、先般鷺羽山ハイルランドに森林認証材指定での遊具の受注がありました。

Q 携帯電話が使用できない区域の解消をお願いしたい。

A 電話会社に対しお願いはしていますが今後もお願ひし続けたいと思えます。

今回の座談会で村民の皆さんからいただきました貴重なご意見等について検討し、実施可能なことから順次実施したいと考えますので皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。また、ご質問等についても事務・事業の内容等行政からの説明不足を痛感しており、今後広報、告知放送、インターネットを活用しながらわかりやすく情報を提供していきたいと思えます。